



★ 業務紹介 ★

【開催報告】第33回危険物事故事例セミナー

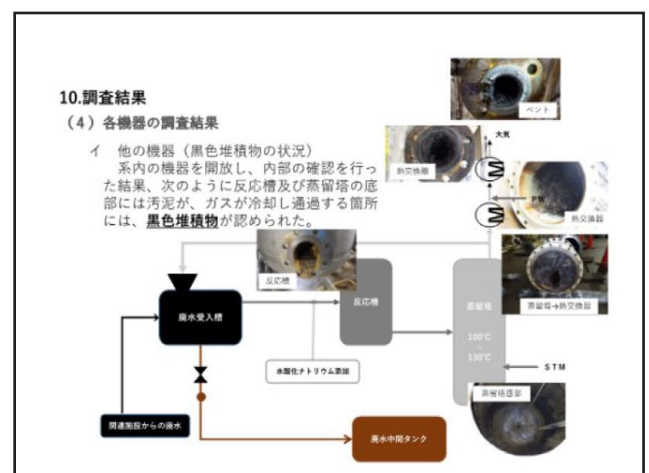
事故防止調査研修センター

当協会主催の「第33回危険物事故事例セミナー」は、令和6年2月16日に東京会場にて、令和6年3月6日に大阪会場にて、それぞれ開催し、危険物行政に携わる消防職員や日頃、危険物の取扱い等の業務に携わっている事業所の方など、159名の方々にご参加いただきました。

今回のセミナーでは次の4題について、ご講演いただきました。

- 1) 周南市消防本部 危険物保安課 課長 佐伯吉憲 様から「タイヤチップをストックするバンカーからの火災事故」と題して、動力装置の燃料であるタイヤチップをストックするバンカーから出火し、内容物であるタイヤチップが燃焼した事故についてご紹介いただきました。当該バンカーは約40mの高さに設置され鎮火までに約3日を要しました。
- 2) 堺市消防局 予防部危険物保安課 主査 千早淳 様から「リサイクルガスコンプレッサーからの火災事故」と題して、分解油水添脱硫装置リサイクルガスコンプレッサーの通常運転中、異物の噛み込みによる異常な振動と機器周辺のガス警報器の発報により現地確認したところ、ベント2カ所からガス漏えい及び火災が発生した事故についてご紹介いただきました。
- 3) 東京消防庁 予防部危険物課 製造所規制係長 酒井浩司 様から「アスファルト混合物製造工場からの河川への重油流出事故」と題して、施設の清掃不良及び維持管理不適當のため、アスファルト混合物製造工場（一般取扱所）から河川に重油が流出した事故についてご紹介いただきました。
- 4) 川崎市消防局 予防部保安課 検査担当係長 喜多村亮太 様から「廃水処理施設の蒸留塔ドレン配管からの火災事故」と題して、製造装置（一般取扱所）から出る廃水に含まれる有機物回収処理を行う施設において、可燃性のガスが異常発生し、蒸留塔のドレン水を回収する配管の先端部から出火した事故についてご紹介いただきました。

当協会では、これからも危険物の保安対策の推進に役立つセミナーを企画してまいりますので、引き続きご支援、ご協力くださいますようお願いいたします。



映像抜粋（左：東京消防庁、右：川崎市消防局）